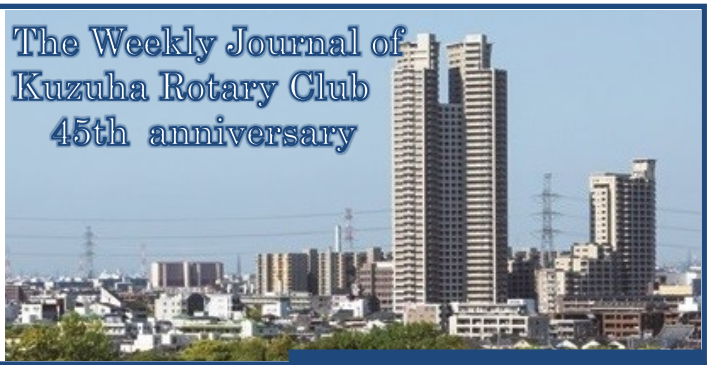


The Weekly Journal of Kuzuha Rotary Club 45th anniversary



2020年6月3日 第2169回例会



2019-20年度クラブテーマ

「くずはロータリークラブの
輝かしい未来に向けて」
歴史と伝統を学んで実践しよう!

2019-20年度理事・役員

会長	國田欣吾	幹事	橘喜久夫
直前会長	岡山量正	S A A	柿丸 裕
会長以外	初木賢司	会計	粟津直晶
副会長	米田 勉	理事	小北英夫

理事(長期計画)	源本将人
理事(社会奉仕)	白井博己
理事(国際奉仕)	森岡順一
理事(職業奉仕)	田代ミチル
理事(青少年奉仕)	松吉富美彦

例会プログラム

12:30 開会点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング「奉仕の理想」
- ・会長の時間
- ・ご挨拶

国際ロータリー第2660地区

ガバナー補佐江ノ外 藤田正明 様

- ・各種記念品贈呈
- ・米山奨学金授与

2020年度米山奨学生 張麗麗 様

- ・幹事報告
- ・出席状況報告他

- ・ご報告「タイアカ族支援」
原田義之 様(タイ・チェンライRC)
- ・クラブ協議会「内規改正・委員会引継」
- ・委員会報告
- ・その他 ニコニコBOX報告

13:30 閉会の点鐘

- ・本日の会合

<定例理事会> (敬称略)

國田、岡山、初木、米田、橘、粟津、柿丸
小北、源本、白井、森岡、田代、松吉
田中商人、内田、木崎、川上、瀬川、稲田
今平、日野、杉森

本日の歌♪

「奉仕の理想」

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー



6月御祝

☆入会記念日祝

白井博己会員 安福克也会員
松田伸一会員

☆お誕生日祝

藤原和彦会員 安福克也会員
森岡順一会員 龍見洋祐会員
今平健一会員 荒幡 篤会員
長村修治会員

今後の予定

6月10日(水) ■卓話「生涯の趣味」
ひらかた仙亭 河本賢一会員
12:30~13:30 東北訪問報告
白井博己委員長

6月17日(水) ■卓話「次年度に向けて」
ひらかた仙亭 初木賢司会長エレクト
■被選理事会13:35~

6月20日(土)春季家族例会

6月24日(水) ■退任挨拶
ひらかた仙亭 役員・理事
12:30~13:30 新会員から一言
■新旧合同理事会

■本日の配布物

- ①6月3日週報
- ②内規改定資料
- ③2020-21年度委員会構成表
- ④ロータリーデー記念品(再)

■本日の回覧物

- ①6月例会出欠表
- ②ガバナー月信6月号

■地区行事等出席予定 (敬称略)

6/23 米山奨学生村エンゲージン 多田

ニコニコ箱メッセージ

(敬称略・順不同)

- *誕生日祝をいただいて 駕田 毅
- *入会記念を頂いた喜びに 宮田 明
- *久しぶりに皆様にお会いできた喜びに!
コロナの勝とう! 國田欣吾
- *久しぶりに皆様に葵できた喜びと
会長洗浄液ありがとうございました 川島吉博
- *久々の例会、皆様出席いただき
ありがとうございました 柿丸 裕
- *久々の例会楽しかったです早くコロナが
おさまりますように! 國田会長洗浄液
ありがとうございました 高橋克文
- *國田会長 洗浄液ありがとうございました
瀬川裕一
- *例会の再開に 中島 一
- *新型コロナに負けず頑張りましょう 松吉富美彦
- *久方ぶりに皆様にあおいただきました喜びに
大橋智洋
- *自粛明けの例会再開に! 國田会長
洗浄液ありがとうございました 原 卓生



合計	¥74,000-
累計	¥1,238,363-

会長の時間



國田欣吾会長

皆さんお久しぶりです。お元気にされておられましたか。皆さんにお会いできて大変うれしく思います。自粛しておりますのでちょっと太ってきたように感じています。皆さんはどうか。3月より例会を休会として約3か月ぶりの開催となりましたが、皆さんにご出席をいただきまして感謝申し上げます。基礎疾患をお持ちの方もいらっしゃると思いますので、6月末までは引き続き自由参加として少人数で開催をさせていただきます。皆さんもマスクを着用されていますが、外すタイミングがわからない今日この頃です。しばらくは日本人の風土として着用し続けることになるのかなと思っています。他クラブの中には6月末まで休会とするクラブもありますが、当クラブはどのクラブより早く自粛協力をして、どのクラブより早く開催させていただきました。本来でしたら今日の例会は30日の創立記念を前倒しで、夜間例会として創立記念例会と新入会員の歓迎会をするつもりでしたが、それもできず残念に思っています。

世の中は、各会合も延期や中止となり、先週高校球児の夢である高校野球も春に続いて夏も中止が決まり、高校球児が涙をのみました。しかし全国へ出されていた緊急事態宣言もすべて解除されましたので、いよいよこれからだと思っていますが、新型コロナウイルスも完全に終息したわけではありませんし、第2波、第3波の話がでてきております。そのような中、世界では経済活動を再開する動きもでてきており、日本でも今まで通りとまではいかないまでも早く元の活気が戻ってくると期待しております。私どもクラブとしては、この時期になりますと次年度に向けて事業が山積をしますますので、来月より通常通り開催をして、次年度の準備も含めて進めてまいりたいと思います。会員の中にはこのコロナにより厳しい環境に立たれている方もおられ、地区からメッセージが届き、主として退会防止対策としての書類が届きました。当クラブとしては柔軟に考えていかなければならないと思っています。

さて、今日の卓話ですが、今月は青少年月間でもありますので無理を申し上げて、青少年交換委員会に出向いただいています。松吉委員長と職業奉仕委員会に出向していただいています。川上会員にお話をいただきます。当然新型コロナウイルスで今年に入って委員会を開催されていないと思いますが、今までに学ばれたこと、地区からクラブに対しての要望事項などをおふたりにお話をさせていただきます。

そして報告です。先週の週報でも記載させていただきましたが、今月の30日に行う予定にしておりました家族例会は6月20日に延長をさせていただきました。先日、委員長と下見に行ってきました。食事会場も立派で、自然の中での例会ですので喜んでいただけたと思います。委員長にはいろいろとコロナ対策をしていただきますのでご安心ください。その関係で、米山委員長と研修委員会の皆さんには、米山記念館の見学を中止とさせていただきますことをお詫びいたします。また、先日次年度の会長、幹事とともに今年度から一年間ホストとしてお世話する米山奨学生の張麗麗さんにお会いさせていただきました。明るく聡明な女性でした。6月3日の例会に来られます。

最後に、地区もコロナ対策支援に力を入れており、当クラブに対して支援金の依頼がありました。それを基にコロナ対策の支援として、枚方市民病院にフェイスシールド5000枚を枚方ロータリークラブと交野ロータリークラブと私どもロータリークラブで寄贈することになりました。贈呈式は6月11日の予定です。また当クラブとして地域への支援については、先般の消毒液は仕切り直しをして枚方市への寄贈を検討しています。今日は久しぶりの例会ですので、できるだけ密を避けるため、食事も取っていただくことはできません。また、時間を少し短めにして終わりたいと思いますので、最後までよろしくお祈りいたします。

「地区青少年交換委員会報告」 松吉富美彦 地区委員

新型コロナウイルスの流行がパンデミックとなり、派遣学生及び来日学生とも帰国を余儀なくされました。2019--20年度の派遣候補生のオリエンテーションも最終月ですが、派遣国もロックアウトが続く中、RIJYEM地区青少年交換委員長会議準備委員会決定指針に基づき、2020年5月31日までに、外務省感染危険情報の危険レベルがレベル1に回復しない限り「2020-21年度の青少年交換は中止する」とありますので、今年度の長期交換留学は中止になる模様です。今回のビデオは学友会の中のRotexの活動報告とPRのビデオです。Rotexとは以前に青少年交換プログラムで派遣学生として長期留学を終了して帰国した学友会の子供たちの事です。Rotexは、現役の交換学生の助言者となる重要な役割を担います。また、地区で受け入れている交換学生の為に観光を企画したり、派遣学生と受入学生のオリエンテーションの進行役を務めたりもします。Rotexはしばしばロータリーの奉仕活動に参加したりしています。

「地区職業奉仕委員会報告」 川上和之 地区委員

職業奉仕委員会では四大用語について講習を受けています。それらを各ロータリークラブで卓話を行っています。『ロータリーの樹』『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』

『四つのテスト』『ロータリーは人づくり』

主にロータリーの樹を理解するためにロータリーの樹の歴史や1本の樹に例えロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけやクラブ奉仕はロータリーの樹に水と栄養を送る『根』であり職業奉仕はその上に成長する『幹』である。などを学んでいます。また、これらを各クラブの職業奉仕委員長に研修セミナーとして講習予定でしたが、コロナの影響でキャンセルになっています。

「地区ロータリー財団委員会報告」 杉森久哉 地区委員

本年度、国際ロータリー第2660地区ロータリー財団委員会に出向させていただき、ありがとうございました。まずは、ロータリー財団委員会の感想ですが、「難しい」の一言でした。昨年の3月、初めて委員会に出席した際に、他の委員の方から、「3年出向しても理解ができない」と聞き、事実そのとおりで、特に地区補助金の審査では、言葉も意味もわからず、財団補助金申請ハンドブックに記載されている用語解説を辞書のように眺めているだけの状態でした。

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、委員会やセミナーが多数中止となり、一年を通じて全てを学ぶことはできませんでしたが、次年度は本年度の経験を生かして活動を行っていきたく思っています。